



ご 挨拶

会長 水谷 榮一(D40)

この度の想像を絶する国内史上最大といわれる災害をもたらした東日本大震災に遭遇された会員の方々に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早く復旧・復興がかないますようお祈り申し上げます。

緑会会員の皆様には平素から一方ならぬご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成22年度総会で承認された緑会の行事は緑静男(D42)幹事長初め役員の方々、学内幹事の先生方の積極的なご支援により計画通りに進捗し、総会(別掲載)を残すのみとなっております。参加費は無料ですので多数の方々のご参加をお願いいたします。

昨年は中日ドラゴンズのリーグ優勝、名古屋グランパスの活躍(優勝)など景気回復の兆しがみえたものの、リーマンショック・産業の空洞化現象が尾を引き、学生の就職活動は深刻な問題となっております。この状況下で3月4日に開催された「講演会・懇談会(キャリアサポート交流会)」において、第一部のポスターセッションでは、41社の参加をいただき、学生たちと熱心な情報交換が行われました。会員OB

の活動・成果・情報を発表していただく第二部の講演会では、「愛知県の科学技術・産業振興施策について」と題して中野達夫氏(G50卒、愛知県産業技術研究所長)から報告があり、新知事の進める地域改革の動向に期待がもたれます。第三部の懇談会では、高橋学長、篠田名古屋工業会理事長のご臨席を賜り、企業・諸先生・OB・卒業生・来年度卒業生(企業50社73人を含め約420人)を一同に会する集いとなりました。企業(OB)と学内研究室(学生)がそれぞれの立場から互いに情報交換ができる場を提供できたことは有意義な企画であったと思います。

昨年度から全学同窓会組織の名古屋工業会名古屋支部長として各単科会を率先する役割を緑会が担当しております。水谷尚美(D41)支部長のもと、秋の総会・新年互例会・工場見学会など順調に推移しております。

会員の皆様、緑会・名古屋工業会支部行事などホームページなどで検索して頂き多くの方々にご参加いただきますようお願いいたします。



ポスターセッション



講演会講師 中野達夫氏



懇談会挨拶 高橋実学長



ご 挨拶

幹事長 緑 静男(D42)

緑会会員の皆様にはご清栄のこととお喜びいたします。日頃より、緑会の諸行事および運営には一方ならぬご協力、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

最近、日本の社会情勢が経済的にも今までにも増して厳しくなりつつあり、緑会の活動においても従来のやり方を踏襲するのではなく、より現状に合うように軌道修正しながら、会員の多くの皆様に参加していただけるよう進めたいと考え

ます。具体的には以下の通りです。

- ① 3月開催のキャリアサポート交流会、講演会、懇談会
キャリアサポート交流会をはじめ一連の行事を、現状に見合った有益で持続可能な姿に変えていく可能性をWGにおいて議論することにする。
- ② 6月開催の総会、講演会、懇親会
会員諸氏がより多く参加していただくよう広報する。

③ 住所データのリスト

個人情報保護のため従来の冊子形式の名簿ではなく、会員に連絡できる生きた住所データのリスト作成に取り組む。

④ 情報交換の集い

緑会本部活動として趣味等の集いが途切れている。気軽に参加できる集いを企画する。
会員の皆様にはご協力、ご鞭撻をよろしくお願い致します。



ご 挨拶

生命・物質工学科 教育類長 山村 初雄

緑会会員の皆様には、日頃より本学科へ多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。まずはこの場をお借りして3月11日に我が国を襲った未曾有の大震災につきまして、犠牲になった方々に謹んで哀悼の意を表し、被災された方々へ心よりのお見舞いを申し上げるとともに一刻も早い復興を祈念いたします。

さて学生につきましては、本年3月23日には大学院、そして第一部ならびに第二部の修了生・卒業生が大学院に進学するとともに、社会人として巣立って行きました。巷では長引く不況の影響で厳しい就職状況が報道されていましたが、多くの皆様からご支援を賜り、ほぼ全員が就職できましたことをここにご報告し、あらためて御礼申し上げます。緑会会員の皆様におかれましては、引き続き彼らを暖かく見守っていただくとともに、社会人として立派に成長できるようご指導をお願い申し上げます。

教員につきましては、化学工学分野の堀克敏准教授が4月に名古屋大学に異動されました。先生のこれまでのご尽力に御礼申し上げますとともに、ますますのご活躍を祈念したいと

思います。その一方で、昨年4月には花井淑晃准教授が生化学分野に着任され、この4月には化学工学分野の岩田修一先生、有機化学分野の平下恒久先生が准教授に昇任されました。若いお力でますます充実した教育が可能になると期待しております。

平成16年に国立大学法人となり、すでに7年が経過しました。その間、第一部での生命・物質工学科への改組、第二部での物質工学科への改名と定員縮小、さらには大学院工学研究科再編に伴う未来材料創成工学専攻および創成シミュレーション工学専攻の設置と、教育組織の改編が成されてきました。これは本学の掲げる中期目標・計画の達成に向ける様々な努力の結果です。今後も本学科では、「高度な工学知識と実践能力を有する自立した研究者・技術者」、「基盤産業の革新に貢献し、新産業の創成に貢献するリーダー」を育成するべく鋭意、努力をしております。

あらためて皆様には今後益々のご指導ご鞭撻並びにご協力をお願い申し上げます。最後に、緑会会員の皆様のご健勝と益々のご発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



ご 挨拶

生命・物質工学科 副教育類長 川崎 晋司

緑会の皆様には、日頃より本学科に多大なご支援を賜り大変お世話になっています。一年間、就職担当として、さらなるご協力をお願いすることになろうかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

さて、求人状況ですが、おかげさまで例年通り多数の求人をいただいております。化学系の学科ですが化学系メーカーのみならず、金属、自動車、電気産業など非化学系メーカーも含め実に広い業種からの求人があります。これは化学を学んだ人材が多業種で必要とされており、化学がさまざまな産業、製品に活かされていることを強く感じさせます。また、卒業生の皆様がこうした広い分野でご活躍されているからこそ、本学科に求人をいただけるのだとあらためて感謝申し上げますとともに、これからいろいろとお世話になる学生たちのサポートをぜひよろしくお願いいたします。

一方、高等教育の教育者という立場から別のお願いがあります。就職活動の早期化、長期化が私たち大学教員を悩ませていることはご存知かと思いますが。修士1年生が春の間、数

ヶ月にわたって研究に身が入らないというのはきわめて異常な状態です。学ぶべきときに学べないというのは単に大学のみの問題ではなく、社会全体により影響をもたらさないと考えます。どうすれば解決するのかというのは難しい問題ですが、まずは就職活動にいかにより多くの時間が費やされているかを多くの方に知っていただきたいと思っております。履歴書ひとつとってみても手書きでなければならないという神話（神話だと信じたい）のもと膨大な時間をかけて学生たちは用意しています。一般には複数の会社に挑戦しますからこれだけでも相当な時間を要します。皆様のご理解のもとで、こうした問題が少しでも解決の方向へ向かってくれることを切に願います。

本稿を執筆中に東北地方太平洋沖地震の報を受けました。東北地方太平洋沖地震につきましては、亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さま、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

◇◇◇ 東京支部だより ◇◇◇

東京支部長 三山 雅敏 (D38)

3月11日東北関東大地震・大津波が発生し、1週間が経過した。死者・行方不明者2万人以上、被災避難者が30万人以上と報じられ、この数値はさらに増え続けています。福島第一原発は未だ爆発、高レベルの放射性物質を放出し続けており、安全確保の目途は立っていません。半径20km内の住民に対し避難指示が出されています。この原発事故・停止により、東京電力、東北電力域内で大規模な電力不足が発生、計画停電や交通機関の間引き運転で都市機能・生活は混乱しています。

緑会諸氏の中に被災された方が多くおられると思います。心からお見舞い申し上げます。

今後、この大震災からの回復・復興にはおそらく10年は要するものと思われますが、日本人一致協力してこれを成し遂げ、日本人の真価を世界に示したいものです。

さて、緑会東京支部22年度の活動ですが、2回の学年幹事

会開催と名工会東京総会に併せ開催される緑会秋の集いがあります。昨年4月の幹事会(14名参加)では、緑会本部、名工会本部・東京支部の活動報告、緑会東京支部の平成21年度行事報告・収支決算、平成22年度行事予定・予算の審議、出席者近況報告がありました。9月の幹事会(15名参加)では、同様の上部団体の活動報告、名工会東京支部総会・緑会秋の集いの参加者勧誘方法の審議に加え、D39滝 義宏の講演「BEN 前向き病気予防法」がありました。11月開催の名工会東京支部総会(緑会28名が参加)は、参加者数緑会がトップであり、名工会東京支部主要活動のエクスカージョン、ごきそサロン、ゴルフ会の幹事は緑会役員が担当しています。緑会東京支部の悩みは、若い人の参加者が少ないことです。若い世代の組織化、緑会活動への参加を図って行きたいと考えています。(平成23年3月19日記)

◇◇◇ 近畿支部だより ◇◇◇

近畿支部長 末利 鏡意 (D41)

緑会の皆様方には、ご清栄の段お喜び申し上げます。3月11日の東北大地震にて被害を受けた方々には、お見舞い申し上げます。緑会近畿支部は、大阪・京都・兵庫・滋賀・奈良・和歌山の2府4県をカバーしています。会員数は2000名を超えると推定しておりますが、現在の支部名簿で約650名を把握しております。

今後とも情報交換を行い、皆様の交流の場を提供させていただきたいと考えています。

以下に近畿支部の行事を紹介いたします。

① 支部総会

平成23年7月2日(土)11時より、大阪駅前第一ビル11階の「神仙閣」にて開催いたしますので、ぜひご参加ください。

大学の先生の講演と皆様方の情報交換の場といたします。

② ゴルフコンペ

年2回(春、秋)開催しています。中部からも参加があります。

③ ホームページの開設

名古屋工業会の大阪支部にホームページを開設しています。

パソコンをお持ちの方は、ぜひアクセスしてください。

皆様の新しい意見交換の場を作っていきませんか。

④ つれづれ草の会

近畿支部の活動として、「色々なものを見に行こう」の精神で各種のアミューズメント行事を開催しています。

(酒蔵見学、コンサート鑑賞、高校野球観戦、ハイキング等)名古屋工業会大阪支部との交流も盛んで、緑会メンバーが各委員として参加しています。

新任教員紹介

就任挨拶

花井 淑晃

2010年4月1日付けにて、本学に准教授として着任いたしました花井淑晃と申します。私の専門はスポーツ科学(筋生理・生化学)であり、名工大ではリベラルアーツ科目の体育実技と、専門の生物系の講義を担当させていただいております。工学を専攻とする学生にはあまり馴染みのない「バイオロジー」というものを学ぶことの意義を、なんとか伝えたいとの心構えで教壇に立っております。

先の震災を境に国内の状況は様々な面で大きく変わりつつあります。我が国のものづくりの中心である東海地区にあり、

その基盤を長年に渡って支えてきた本学の工学教育が、今後の日本の復興とさらなる発展において果たすべき役割は相当に大きいものと存じます。

専任の教職に就くのは本学が初めてであり、経験の不足はございますが、より良い教育ができるよう誠心誠意努力を続ける所存です。何卒、よろしくご指導、ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

最後に余談ですが、実は私の叔母がその昔、近くで「紀州」という定食屋を営んでおり、名工大の野球部や、空手部の方がよく食べに来られたという話を聞きました。叔母はまだ健在でおります。ご存知の方はいらっしゃいますでしょうか？

教員の異動(2010.4以降)

昇任	2011年4月1日	岩田 修一	准教授
昇任	2011年4月1日	平下 恒久	准教授

平成22年度卒業生就職先一覧

●博士後期課程●

塩野義製薬
群馬大学医学部

●博士前期課程●

旭化成 荒川化学工業 アドヴィックス 青山製作所
イビデン 稲畑産業 岩谷産業 小野薬品工業 王子製紙
関西化学機械製作 河合石灰工業 関西ペイント キョーラク
小林製薬 コスモエンジニアリング サンビック
三和油化工業 サカタインクス 新日本理化 JSR
住友電装 住友軽金属工業 住化分析センター 大洋薬品工業
大洋薬品工業 高砂電気工業 大気社 竹本油脂 大日化成工業
大日本印刷 千代田化工建設 TDK TYK DIC
DNP東海 トヨタ自動車 東海ゴム工業 凸版印刷
トヨタ車体 東ソー 東芝プラントシステム 東芝
トヨタテクニカルディベロップメント 東海理化
東海ゴム工業 トヨタ紡織 東亜合成 東邦金属 日本触媒
日星電気 日本特殊陶業 ニデック 日本ガイシ
日清食品ホールディングス 日東分析センター

ニチアス 日本情報通信企画 ノリタケカンパニーリミテド
ブラザー工業 富士重工業 古河電気工業 富士機械製造
フェザー安全剃刀 フォノン明和 マルヤス工業 三菱樹脂
メイコー 山田メッキ工業所 横浜ゴム 四日市合成
リンナイ

●第一部●

Abbott Japan アドヴィックス かんぼ生命保険 紀陽銀行
三和油化工業 トヨタ自動車 東光 日本リファイン
フタムラ化学 ミトクゴム 明治チューインガム
雪印メグミルク

●第二部●

旭コークス 飯田設計 イナテック 尾張旭市役所
可茂消防事務組合 ゴムノイナキ 高瀬金型 竹屋
テクノエイト TYK トリニティ工業 名古屋精密金型
名古屋ビール園浩養園 フジオーゼックス
フロンティア・ラボ ホーユー MARUWA

平成23年度 緑会総会のご案内

緑会総会・講演会を下記のように開催いたします。

今年は、昭和36年、昭和56年、平成13年卒業の方は50周年、30周年、10周年の節目となります。

同窓生をお誘い合わせの上、ご参加ください。

今回も多くの方にご出席いただけるよう、懇親会会費は無料といたします。

準備の都合上、ご出席のご連絡は、6月13日(月)までにお願い致します。

記

日 時 平成23年6月25日(土)14時より

場 所 名古屋工業大学2号館1階0211(旧F1)教室

○総 会

○大学近況報告

○学術講演

題目「大転換期と近未来の展望(今、世界で何が起きているか)」

講師 岡本 利郎 氏(D44) 御苑特許事務所所長

○懇親会 大学会館2階 カフェテリア 16:30 - 18:00

連絡先 学内幹事 midori@ach.nitech.ac.jp

名工大、緑会、工業会ホームページの紹介

最新の情報をホームページに掲載しております。

名工大HP : <http://www.nitech.ac.jp/>

緑会HP : <http://www.ach.nitech.ac.jp/~midori/>

名古屋工業会HP : <http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

住所変更、その他のご連絡等ありましたら、

e-mail : midori@ach.nitech.ac.jpか、または下記の住所に、ご一報をお願いいたします。

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学同窓会「緑会」